



Chartered April 11, 1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Yoshio Iida 1-2-2 Moriminami-cho Higashinada-ku, Kobe 658-0011, JAPAN
 Mail : y-iida@jpu.co.jp Phone : 078-452-3973
 URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/>

主 題
 国際協会会長 Kevin Cummings 「一つとなる力」
 "The Power of One"
 アジア地域会長 Chon Byung-Koo 「夢見るアジア、愛するアジア」
 "Dreaming Asia, Loving Asia"
 西日本区理事 鈴木 誠也 「すべてのいのちを大切に！」
 "Love & Care for All the Living Things"
 —いのち・平和・環境—
 —Life, Peace, Environment—
 六甲部部长 大田 厚三郎 「希望の灯(ともしび)となろう」
 "Be the Light of Hope"
 芦屋クラブ会長 飯田 義雄 「愚直に歩もう」
 "Let's Advance Day by Day"

会 長 飯田義雄
 直前会長 柏原佳子
 副 会 長 井上雅司 島田 恒
 書 記 堀江哲次 都筑省三
 会 計 羽太英樹 堤 清
 監 事 都筑省三 田舎庸男
 連絡主事 橋本 潤
 六甲部EMC事業主査 福原吉孝

7

July 2009
第 146 号

「愚直に歩もう」

Let's Advance Day BY Day

飯田 義雄



先ずもって芦屋ワイズメンズクラブ会長として2年間率先垂範していただき何かとご配慮賜りました柏原佳子会長に心より感謝申し上げます。

後任としては責任の重さを痛感いたしておりますが確かな歩みを目指し努力してまいります。

すので皆様のご指導宜しくお願いいたします。活動としては当然のこととしてYMCAの良きパートナーとして時代の課題と取り組みます。一人一人の命の尊さを考え、平和が脅かされている地域への支援、団体への関わりを重視いたします。YMCAに対しては提案型、共催型、支援型の可能性を見出し積極的に話し合い地域活動に貢献いたします。若き日に共に生きる意味を考える青少年プログラムへの支援とボランティア、リーダー養成に協力いたします。地域社会にある教会その他団体への呼びかけによる会員増強、従来どおり地域社会への積極的関わりと留学生交流の促進、さまざまなパーソナリティの交感の場として3分間スピーチを例会でお願いいたします。次の時代に向けて夢が語られ、楽しく居心地の良いクラブを目指し皆と共に歩み続けます。最後にご存知かと思いますが数年前発行されました南米アンデス地方の「ハチドリのひとつづく」が現在の私の気持ちです。この一年よろしく願います。

「あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい」
 ペテロの手紙4章10節

今月の聖句

わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。
 マタイ福音書28:20

7月第1例会プログラム

- と き： 2009年7月15日(水) 19:00~21:00
 と ころ： ホテル竹園芦屋 3階
 司 会： 渡辺倫子 (敬称略)
 受 付： 加輪上敏彦・桑野友子
1. 開会点鐘 飯田義雄会長
 2. クラブソング斉唱 一同
 3. 聖書朗読 羽太英樹
 4. 食前感謝 柏原佳子
 5. 食事・歓談 一同
 6. ゲスト・ビジター紹介 渡辺倫子
 7. 「六甲部長訪問」 太田厚三郎部長
 8. 「3分間スピーチ」 柏原佳子
 9. ニコニコ (いい事一言) ドライバー
 10. 議事・報告
 - 1) 第2例会議事録承認 飯田義雄会長
 - 2) 各事業報告 各事業委員
 11. YMCAニュース 橋本潤連絡主事
 12. 誕生祝 飯田義雄会長
 都筑省三、羽太英樹・光子
 13. ニコニコ献金報告 福原吉孝 (ファンD)
 14. 閉会点鐘 飯田義雄会長

6 月 統 計

第1例会出席者	例会出席率	BF切手	(累計)
メンバー 18名	出席者 18名	100g	(972g)
ビジター	メイキャップ 1名	吉岡	
ゲスト	合 計 19名		
メネット 1名	在籍者 20名	ニコニコ	(累計)
合 計 19名	出席率 95.0%	8,640円	(202,792円)

6月第1例会報告

日時： 2009年6月17日(水) 19:00～21:00

場所： ホテル竹園芦屋 9階ラウンジ

司会： 上野恭男

出席者： 飯田、井上、上野、大沢、柏原、加輪上、桑野、島田、都筑、堤、羽太、福原、堀江、町永、吉岡、由田、渡辺、橋本連絡主事、大沢メネット(19名)



6月例会は期末の最後の例会ですが、なんと、H・竹園の都合で最上階のラウンジでの開催となりました。今回は横浜から町永ワイズが最後の別れを惜しんで出席していただきました。大沢ワイズはメ

ネットと共に出席です。上野はどういうわけか司会のお役、まず、2年の会長を務めていただいた柏原佳子会長に感謝の意を表して、会員からの花束が飯田次期会長から贈られました。期末でもあり、この1年間に集まったみどり福祉作業所へのみどり基金を大沢ワイズに贈呈、続いて、西日本区キャビネットに3名を出している芦屋クラブからキャビネット基金にと10万円



が飯田会長から上野次期西日本区書記に贈呈されました。

ホテル竹園の縄田宴会担当から、2年間の柏原会長の温かい交流に感謝

をされて、素晴らしいbuffet料理が並んでいます。柏原会長は誰からも愛され、しっかりと仕事をされて去っていかれます。とても感傷的な場面でもありますが、次期飯田義雄会長がしっかりと場をしめてくれました。柏原会長から差し入れのワインで乾杯の後は、

議論風発楽しいひと時を過ごしました。ころ合いを見て参加者の3分間スピーチがあり楽しい6月例会はお開きと相成りました。2年間会長をお願いした柏原佳子会長から飯田会長に引き継がれた素敵な例会でした。

柏原会長には西日本区事務局長のお仕事があります。ボンポアヤージ。

上野恭男



芦屋クラブ万歳！

手元に‘08年11月発行の『ワイズ読本』があります。二人の息子が住む横浜に「終の棲家」を求めての転居を機会に、11年間在籍したワイズを卒業させてもらうようそのときすでに決めてはいましたが、記念に買い求めていたのです。「ワイズメンはかくあるべし」、改めて尊敬すべきワイズメンの方々のワイズ論を読ませてもらい、私自身、果たしてワイズメンたりえたのか、顧みて反省しきりです。ただ、私自身にとっては思い出に残る貴重な晩年の一時期でした。過日、半年振りに6月第1例会に横浜から参加しました。手を上げてワイズソングを歌い、柏原会長最後の開・閉会点鐘を感慨をもって聞かせてもらいました。いよいよ飯田新執行部の船出です。78歳の私が抜けても平均年齢はそれほど下がらないような気もしますが、皆さん元気で明るい、疑いなく航海は順風満帆でしょう。03-04年度に会長を仰せつかったとき、研修会で、会長の責務・資質が話されました(‘03・7月プリテン参照)。とうい私には無理だと思いました。一つだけ可能だったのは、次期へバトンをつなぐ「リレー走者」としての役割だけでした。短いお付き合いでしたが、飯田新会長はそのとき列挙された資質の多くを兼ね備えておられると拝察してきました。新しい芦屋ワイズメンズクラブの歴史が刻まれること請け合いです。期待しています。



来年8月、横浜でワイズの国際大会が開催されます。会場のパシフィック横浜は同じ横浜でも我が家から電車を乗り継いで1時間以上かかります。先日、その手前にある横浜みなとみらいホールで西本智美指揮のルーマニア国立ジョルジュ・エネスコ・フィルハーモニーの演奏を聴きました。国際大会でお目にかかるわけには行きませんが、大会の前後にでも、我が家の近くで一席設けたいと思います。そのとき、たくさんの芦屋ワイズの皆さんにお目にかかれるのを今から楽しみにしています。

町永昭五



例会風景
町永メンは横浜から芦屋クラブの発展にエールを送り続けてくれるでしょう

例会風景
09-10年度飯田新会長提案の3分間スピーチの手始めに、柏原会長の挨拶



2009 西日本区大会 in 熊本

西日本区熊本大会の思い出

6月6日午後、正規プログラム開始から参加した。いくつかの思い出や印象を記す。

開会は恒例のバナーセレモニー。他日の大会やデンマークの世界大会でもそうであったから、ワイズの定番行事なのであろう。それなりに華やかさと仲間意識を盛り立てた。来賓の挨拶は



紋切り型を脱した印象がよかった。何となくファミリーな雰囲気。海外からの挨拶も国際クラブとしての雰囲気を醸し出していた。

各部報告や、役員のおつとめご苦労さ

んの時間が続く。少ない会員でこれだけの活動をしているのだから、本当にご苦労さま。貢献度の少ない会員としては恥ずかしい時間。それだけにやや長めにも。ワイズらしい地元からの講演を入れて勉強タイムとするのも一考かと。晩餐会は飲食を楽しみ(やや過ぎた)、交流を楽しんだ。

聖日礼拝は地元草葉町教会の山下牧師のメッセージ。牧師は元芦屋浜教会在任中から存じ上げている方(今回芦屋クラブから浜教会メンバー多数)、短い時間でこころに響くものであった。熊本バンドの歴史と活動、同志社への貢献、そして東京・大阪・神戸 YMCAの創立への貢献。もし熊本バンドなかりせば、われわれワイズもどうであったか。

熊本みなみクラブとの DBC 締結、そして大会や閉会後の歓待と交流。柏原会長・吉岡委員のリーダーシップに感謝。

大会前日、われわれは阿蘇を訪ね、雄大な草千里、放牧されて草を食む牛馬、中岳の墳煙、メルヘンな絵本美術館、そして温泉を楽しんだ。大会当日午前は、昨年登城者日本一になったという新装熊本城(ややキンキラ)を訪れた。熊本城をめぐる歴史に一瞬思いを馳せる。

日常を離れ、意義と交流のある機会に参加することは何となく充実感をもちたもらえた。限られた人生の時間をこころして歩みたいと思わされた熊本であった。

島田 恒・保子



2010年の広島大会のアピール
猛練習の「えーじゃん踊り」を披露



日々新たに

熊本大会は会長として、また次期理事事務局として壇上に立たせていただきました。芦屋クラブ会長としては2期目を終える達成感からか、バナーも重く感じず、会場のメンバーの皆さまの姿がよく見えたように思います。拍手や掛け声も心強く嬉しく受け止めさせていただきました。2日目の役員交代では晴れがましくも理事経験者の現事務局長とトゥーショットのバッジ交代が用意されていてバッジを握りしめた手が汗ばんだのを覚えています。こちらはずしりと重く、未知への不安は限りなく広がります。ワイズはボランティアクラブであり、良質の人々の集まりなのだと心に言い聞かせ私のできるものを探し、実務に誠実に向き合う覚悟はできております。芦屋クラブ会長としての学びを無駄にせず、来年のこの日が豊かに祝福されますようにと祈ります。



柏原佳子

フェローシップアワーは楽しかった

西日本区大会に参加したのはこれで二度目です。

熊本という歴史ある火と緑の国に魅かれたのと、古き友人でありまた敬愛するミュージシャンのアゲインさんと再会を約束したため



のこの度の熊本訪問でした。大成功に終わった懇親会の興奮が冷めやらぬまま、二次回会場へ移動、ここでもまた大勢の参加者のもと熱気むんむんでした。

DBCを締結したばかりの熊本

みなみクラブの堀メンのギター弾き語りの上手さに驚くと共に、35年以上も前の懐かしいフォークソングにすっかり引き込まれてしまいました。ダンスに興じる方々もたくさんおられ、だれかれと無く色々な方々と歓談いたしました。

初めてお会いした方でもすぐに打ち解けておしゃべりが出来る。これがワイズを通じた交流なんだなと実体験いたしました。



ご準備にあられた熊本ワイズの皆様にこころから感謝です。

佐藤西日本区理事・柏原会長
お疲れ様でした。乾杯!

渡辺倫子

2009 西日本区大会 in 熊本

熊本とYMCAとの深いながり

西日本区熊本大会参加して一つだけ感動した事がありました。熊本は私の故郷の隣県で度々行く機会がありある程度の見識はあったつもりでしたが今回の熊本大会で熊本がYMCAと深いつながりがあったかと言うことです。

熊本洋学校に招かれたアメリカ人教師L.L. ジェーンズが熊本バンド結成し、その教え子たちが東京、大阪、神戸のYMCAの設立に関わって活躍されたという事実は熊本は真に日本のYMCAの発祥の地あり熊本のワイズクラブの人たちが熱い思いをもって活躍されていることがわかり、我が芦屋クラブも熊本みなみクラブとのDBC締結で若さと情熱をいただき、ますますの発展を願うばかりです。

田舎庸男

熊本から日本文化の建設

大会終了後市内から20分位にある花岡山に車で行きました。日本の近代プロテスタン三代源流の一つ熊本バンドの決意がなされた広場に行く「熊本バンド奉教之碑」が建っています。1876年1月30日の早晩熊本洋学校の生徒35名の有志がキリスト教を持って日本を救おうと祈禱会を開きその趣旨を広くアピールするには山頂が最適として選ばれたとの事です。士族の子として生まれながら藩制の解体で忠誠の対象を失った青年達に新しい目標を与え、熊本から京都にいき日本文化の建設、伝道の熱意を伝え全国に散らばった先人の思いに新たな勇気が与えられました。

飯田 義雄

山下慶親牧師の礼拝説教

私が今会参加した理由の一つは山下先生にお会いしたいという事でした。大会2日目(7日)の熊本バンドについての朝の礼拝説教の山下慶親牧師(熊本草葉町教会牧師・四国学院理事長)は芦屋浜教会で3年間牧会して頂き、この間幼稚園の閉園、会堂建築と色々ご苦勞をお掛けした私にとって大変印象深い先生でした。4年前のことです。

今また牧師辞任を表明されているという

ことをお聞きして、在任中にお会いしたいと思っていました。大会の礼拝の後、草間町教会の礼拝に出席しました。恵まれた礼拝でした。

教会員に熊本YMCA総主事の堤弘雄氏をはじめYM関係者が数人居られるそうです。

今回の熊本行きに際し飯田メンに切符や宿の手配そして伊丹まで羽太メンと一緒に行き帰り車に乗せて頂くなど大変お世話になりました。よい思い出になりました。ありがとうございました。

都筑省三



心はいつも事務局長

前夜祭は当初予定されていた場所から急遽、KKRホテルに。何でも参加人数が多いための変更！流石ですね！ホテル日航熊本のロビーは会場への案内を待ってゾクゾクとワイズメンが集まり早くも社交場となり再開を喜ぶ声が！無事に集まった会場ではあらかじめ申し込まれていたお声自慢のワイズメン、熊本みなみの堀ワイズも熱唱されたとあって、無理やり舞台へ送り出した我が吉岡ワイズの素晴らしい歌唱力は皆様すでにご存じですよ。参加賞の晩柑は私がいただきました！来年の今頃はきっと・・・心はいつも・・・事務局長なのです。

柏原佳子

ワイズの熱気に圧倒

37年ぶり二回目の熊本訪問となった。芦屋ワイズに加えていただき始めての大会出席であった。第一印象は「ワイズの熱気に圧倒された」ことである。準備周到、無駄の無い楽しくて意義深い伝統の大会のアレンジに頭が下がった。感謝。それと今回は熊本市を見下ろす花岡山を訪れ、日本のプロテスタント教会と、日本のYMCAの原点のひとつとなった「熊本バンド」に思いをはせることが出来、さらに芦屋ワイズにとって三つ目の兄弟ワイズとなった「熊本みなみ」の皆さんとの交わりが始まったことにうれしく思った次第である。

羽太英樹

一読三嘆：“熊本バンドを懐う”

第12回西日本区大会参加者への配布資料の一つに64頁の掲題の小冊子が入っていました。キリスト教信者には極く初歩的な知識でしょうが、信者ではないがワイズに係わっている小生には大変興味深く勉強になるものでした。

先ず肥後(熊本)が250年以上も前に文武教育の為の学校“自習館”や医学校“再春館”を設立し、文教に注力して俊英を輩出していた事に驚きます。明治維新で出遅れた肥後にあつて唯一人活躍した横井小楠も志半ばで凶刃に倒れますが、生前国禁を犯しても敢えて二人の甥を渡米させ、後に排他的風土の肥後にあつて米国退役軍人ジェーンズ先生を擁する“熊本洋学校”を生み出す礎を築いています。

ジェーンズ先生は1871～1876年の5年間4年制の熊本洋学校を指導し1875年11名、1876年同じく11名と二期の卒業生を出すのみで同洋学校は廃校されて終います。この二期計22名の卒業生は入学者の実に二割弱に過ぎぬという厳しい授業に耐え抜いた猛者揃いであつたことでしょう。

1876年(明治9年)1月30日花岡山山頂にキリスト教に入信、結盟を誓う35名が祈禱集会を行います。これが所謂“熊本バンド”の始まりです。そしてまたこの熊本バンドの面々がそっくり同志社に入り同校の基礎を作る事になったというのです。

毎年1月30日6:30～7:30AM同所で早天祈禱会が行われ250名前後の参列者があると云います。キリスト者でない小生がDBCの熊本みなみの皆さんと一度参加してみたい等と思うのは矢張り不謹慎の誹りを免れぬのでしょうか？

吉岡 浩一

おめでとう!“元気な芦屋クラブ

三つ目のDBC締結”

第12回西日本区大会にて「芦屋クラブ」が「熊本みなみクラブ」とDBCを締結する式に立ち会いました。会場に少し遅れて入った私はピンクのシャツの軍団、大勢の「熊本みなみクラブ」の方々が目に飛び込んできました。隣の会場では神戸西クラブの「西・ウエスト連合、ペンタゴン DBC 締結」が進行していました。古参クラブに敬意を表して六甲部長(当時)は先に五つのクラブの締結に立ち会い、夫婦の契りをなさんとするかの厳肅な様子を横目にして芦屋クラブの締結式に臨んだのでした。

こちらの部屋ではまるで「親子の様」な感じを受けたのですが、これは私一人ではなかったと思います。芦屋クラブは既に風格を携え、兄弟クラブの交流実績を重ねていて、新進クラブ



両会長が認証状にサインをして交換

の熊本みなみクラブを包み込むような余裕すら感じさせる雰囲気部屋中漂っていました。後からの参加でしたから後方の空いた席に座ると自己紹介が始まっていました。私の前では学園都市クラブの中村さんがお隣の熊本みなみクラブの偶然にも同じ中村さんに話しかけていたのです。私も中村ですと！この中村さん(あの熊本ジェーンズクラブの中村勝子さんのお連れ合い)だけが芦屋クラブと同じくらいでした。女性の多いクラブ、若い人ばかりのクラブ、これが私の印象です。



ぜひ元気な芦屋クラブが若さを持続され5年後・10年後にも「年齢差をもろともしないアクティブな交流」が継続されます様に期待したいと思います。おめでとう！

山口政紀(西宮クラブ)



熊本みなみは平均年齢も若く女性メンバーも多く活気溢れるクラブ

熊本みなみクラブ

6月はジュンブライド。結婚には最高の季節に、熊本の西日本区大会という最高の舞台で九州の熱い荒くれ魂と芦屋の清楚な気品とが、めでたくDBCを結んだことは、私の短いワイズライフの中でも、この上なくハッピーな出来事は、一生の思い出として残る事件ではないかと思えます。

兄弟(姉妹)クラブ・ブラザークラブという言葉はよく聞きますが、どうゆうことを、どのようにして、親密さを高めていくのか、たった今、この文章を書いている、この時点から思い悩んでいく楽しみが増えたようです。熊本みなみクラブの今年の会長主題は「聴いて話して高めるワイズの絆」とさせていただいていますが、どんなに仲の良い恋人も夫婦も話し合っ、相手の話をよく聞いて、想いを伝え合い、理解し合わなければ、絆は深められないものです。今度逢えるのはいつだろう・・・との再会を願っております。「I like Ashiya club.」

熊本みなみワイズメンズクラブ一同
2009 会長 内村忠生

もりおかクラブ



長岡会長

芦屋ワイズメンズクラブの皆様、次期会長を引受ける長岡でございます。チャーターナイトから2年半、第3期目の会長職になります。ワイズの使命や意義が最近やっと理解できてきたかな、という感じです。

私の主題は「未来のために、もりおかワイズ。」にします。「健全な運営ができる組織にしたい」という願いをこめて、私後の会長や役員がもりおかワイズを楽に運営して行けるよう、基礎固めを行いたいと考えております。わがもりおかクラブは現在17名の会員ですが、来年度からは本格的に会員増強に努めて行こうと考えております。又、貧弱な会計を何とかしたく、わかしお石けんの販売をファンドとして正式に立ち上げたいと考えております。芦屋クラブの皆様には、盛岡りんごを今秋、お届けいたします、おたのしみに。どうぞ皆様、力強いご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2009 会長 長岡正彦



DBC締結式に山口六甲部部長をはじめ、大勢の六甲部メンバーにも立ち会って頂いた

佐藤理事・鈴木 09-10 理事
小幡交流主任・平山九州部
部長・杉野会長・柏原会長
華やかなDBC締結式



今回の大会には12名が参加、年齢を感じさせない若々しさ！

2009 西日本区大会 in 熊本



大会前日、水前寺公園観光に



懇親会風景 美女に囲まれて
羽太メンも堤メンもご満悦?



六甲部長も山口メンから太田メンへ、がっちり握手

吉岡メンは美声を披露



役員交代式、上野メンも神妙



フェローシップアワー風景 ダンスにワインに
全員大いに楽しみ、親睦にも努めました



原東日本区理事ご夫妻と



熊本みなみクラブはワイシャツにリボンタイで決めています



サア-2010年広島で



熊本みなみクラブの皆様とDBC交流懇親昼食会、山下慶親牧師もご一緒に



えーじゃん踊りでアピール

チャリティーワイン報告

6月26日(金)第19回チャリティーワイン会が開催され、芦屋クラブから飯田、柏原新旧会長、渡辺ウイメンと井上の4名が参加。夏をテーマとしたウニ・アワビ・黒毛和牛のコールドビーフといった豪華なメニューと料理にふさわしいスパークリングワイン、白、赤ワインが選ばれ楽しい時間を過ごしました。次回は11月ポートピアホテルで開催を予定しています。

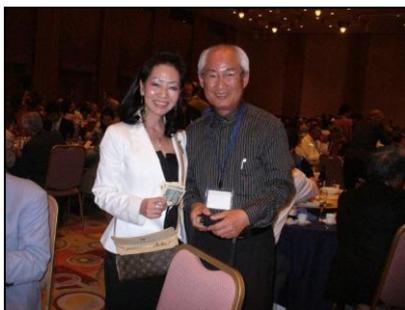
井上雅司

十勝の東日本区大会に参加しました

十勝で開催の東日本区大会は、6月12日1日で終了するために、来年度の広島大会の参考にもなると考え書記として参加、柏原佳子会長も次期事務局長とあつて同行します。帯広に千歳からJRに乗っていく車中、大阪サウスの吹留ワイズと会いました。これもまた楽しみのひとつです。

H・ノースランド・日航での大会は、400人と西の半分の規模でしたが、和気あいあいの中、役員交代式は格調高く、講演も興味深いものでした。1日で終わる大会のポイントは、事業主任が4人と少ないうえに事業報告は表彰と同時に行うことでしたが、なんとか時間内に終えることができました。

前夜祭から、「もりおかクラブ」井上修三元会長、大関会長、長岡次期会長ほか2名、鎌倉クラブの池田会長ともお会いできDBC交流が始まりました。両クラブが会場で売っていたファンドの石鹸、蕎麦などを買って求め芦屋で販売して大いにブラザークラブとしてお役に立てました。多くの知人、友人と会うことが出来てワイズの楽し



さが倍加しました。広島から来た渡辺ワイズ(次期ホストクラブ)ともども、懇親会では第13回西日本区大会のアピールをしましたが、「えーじゃん踊り」を軽快なテンポで踊りましたが、なかでもわが柏原会長の踊りは素晴らしく、ヤンヤの喝さいを浴びました。来年は山梨の山中湖畔で開催です。東西交流もまた楽し、いかがでしょうか！

西日本区書記 上野恭男

☆ 2009年6月6・7日開催の熊本西日本区大会には遠方にも拘わらず芦屋クラブから柏原会長以下11名が参加しました。熊本みなみクラブとのDBCでも芦屋クラブの元気ぶりをアピール出来ました。

参加者(敬称略): 柏原佳子会長・田舎庸男・飯田義雄
上野恭男・桑野友子・島田 恒・都筑省三・堤 清
羽太英樹・吉岡浩一・渡辺倫子 & 島田保子メネット
この勢いを鈴木理事キャビネット主催の2010年広島西日本区大会に繋げましょう。(2009-2010 西日本区理事事務局)

6月第二例会議事録(抄)

日 時: 2009年6月24日(水) 19:00~21:00

場 所: 芦屋市民センター (204)号室

出席者: 柏原、上野、飯田、桑野、羽太、吉岡、堤、堀江、橋本、福原 10名

報告・協議・確認事項

◇第26回タイワークキャンプ報告

YMCAリーダー杉本智絵さん・向井睦さんから3月13日~26日、チェンマイターパスック村での活動内容、交流について報告を受ける

◇西宮・宝塚・さんだ・芦屋4クラブ合同納涼例会

8月12日(水)宝塚ホテル屋上ビアガーデンにて

☆芦屋クラブ第一例会は8月19日(水)ホテル竹園にて

◇六甲部評議会7月18日(土)13:30 神戸YMCA

◇09-10年度の例会のプログラム

1)3分間スピーチにて、メンバーが自分の思い等を気軽に発表する。(順番制)

2)ゲストスピーカー候補者として、具体的に活動している人の講演を行いたい

＜地雷の除去、里親制度、障害者の援助、文化財の保護、青少年の補導＞

3)新規ファンド: 高知県のゆずの村製品を販売

◇5月会計報告

羽太メン(基本会計)堤メン(ファンド会計)

◇会員の異動

町永メン(退会)、井上ウイメン(退会)=異動届を6月30日付けで提出、

◇DBC締結クラブの合同交流会

＜鎌倉、もりおか、熊本みなみ & 芦屋クラブ＞

日時/場所は横浜国際大会・関西地区研修センター等、今後検討する。

素晴らしい体験でしたね

杉山さん、向井さん、昨日は芦屋ワイズでのタイワーク報告会ありがとうございました。とても立派な発表でした。

全体の報告書用、プリテン用、報告会用と私が知っているだけでも3本の報告を手がけて頂いたわけですが、単なる焼き直しでなく、一つひとつのOUTPUTに丁寧に言葉を紡いでおられる姿に感服、感動しました。

昨日の報告も本当に苦勞して準備されたことが、見ていてよくわかりました。大変だったでしょうが、その分、言葉の一つひとつに心のこもった素晴らしい報告会だったと思います。パワーポイントの編集のすばらしさにも心打られました。

芦屋ワイズの皆さまからも、謝辞と第2例会(事務例会)の席上での報告会になり、十分なおもてなしが出来なかったことのお詫びの言葉をお預かりしました。

これから、また夏の余島での活動が始まりますが、昨日のお話にもあったように、タイでの経験が十分に生かされるようお祈り致します。

橋本潤

(橋本連絡主事のメールより 一部省略)

理事通信

YMCAニュース

09-10 西日本区理事 鈴木 誠也

YMCA連絡主査 橋本 潤



私は、熊本での第12回西日本区大会で佐藤理事より、伝統と実績のある西日本区理事のお役目を引き継ぎました。健康を与えてくださった神様に感謝し、皆さまと共に進めてまいりたいと思っております。

さて、この大役は私一人で果たすことは出来ません。既に共に悩みながら準備を始めている仲間たちと共に、皆さま

のお支えがなければ出来ません。自らやろうとして出来る訳ではありません。私を働き人として派遣して下さい、ホームクラブの神戸ポートクラブを始め、六甲部の皆さまそして、すべてのワイズの皆さまの力強いお支えによって1年間共に歩んで参りましょう。

神様は一人ひとりにタラントをお与えになりました。私は義務に対する権利を求め、また、与えられる愛よりも与える喜びを求めたいと思います。すべての人々が生きていて良かったと言える社会を目指し、理事主題を「すべてのいのちを大切に―いのち・平和・環境―とさせていただきます。与えられたいのちを大切に、すべての人々の為に生きる喜びを実践していきたいと思ひます。

ワイズダムの運動は、まずは楽しく、意義のあるクラブ活動から始まります。まずは出席することから始めましょう。「出席して良かったな」と思えるクラブライフを作り上げましょう。Yサ・ユース、地域奉仕・環境、EMC、ファンド、交流、広報、メネット7つの事業はクラブ活動の中から生まれる奉仕活動ですが、すべての事業に目標が掲げられております。クラブの体質によってどこに目標を絞るか検討しながら少しずつ目標を達成していきましょう。やり遂げた喜びを分かち合い、励まし合いながら先に進みましょう。決して焦らずに確実に(slow but steady!)

ユースの力を発掘して次の社会を作るユースを育てましょう。女性と若者が増えれば活気づきます。プログラムが楽しく内容の濃いものであれば、出席することが楽しくなります。楽しいクラブは益々育ち、人数も増えていきます。大きなクラブも小さいと思われるクラブも信念を持ってやりたいことを見つけましょう。必ず見つかります。2000 目指して一直線。信じて進めましょう。悩めるクラブはみんなで励まし、共に進みましょう。必ず光は見えてきます。

クラブ会長様へお願い

来年の横浜国際大会を実りある大会にするため準備を進めておりますが、マーシャル委員会では皆さまから業務を手伝ってくださるボランティアを募集しています。仕事は、登録・宿泊受付・会場案内・分科会での通訳・メネットアワーでの指導などが主なものです。語学に若干自信のあるユースの方のチャレンジを希望します。適当な方がおりましたらメールまたはFAXで私宛にご推薦くださいませ。

F A X: 059-382-2446

E-mail: ana07992@nifty.com

横浜国際大会マーシャル副委員長 佐野文彦

◇小川勝之さん、主事認定

前芦屋ワイズ連絡主事、小川勝之さんが日本YMCA同盟の主事論文を提出し、主事資格審査委員会で主事認定を受け、6月1日付けで日本YMCA同盟認定主事となりました。YMCAの事業・運動の両面の責任をもって担っていく役割として、全国レベルで認定された「主事」を多く輩出していきたいと願っています。小川さんの今後の更なるお働きの上にお祈りください。

◇神戸 YMCA 創立 125 周年実行委員会、スタート!

去る6月1日(月)に常議員会の下に設置された125周年実行委員会の第1回会合が開催され、いよいよキックオフをいたしました。この実行委員会には一つは歴史資料の収集と記念小冊子の作成などを手がける「歴史編纂チーム」、記念のイベントを企画実施する「プログラムチーム」、ポスターやちらしの作成をはじめ、メディアへの情報提供や広報記念グッズなども担当する「広報チーム」、記念式典の企画や資金調達が担当で、全体の調整役を担う「総務・協賛チーム」の4ワーキンググループが設置されます。このように、委員会が立ち上がり、多くのボランティアの皆さんとスタッフが両輪となって2011年に向かっていきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

◇リーダー委嘱式、開催

6月4日(木)、新型インフルエンザのために延期になっていた今年度のボランティアリーダー委嘱式が開催されました。水野総主事から各リーダー会の代表の方に委嘱状と聖書が贈呈され、この一年のご奉仕に感謝と期待の言葉がかけられました。

◇ユースプラザKOBЕ・EASTのプログラムご案内

- 1) 7月18日(土) 11:00~16:00
第7回フリーマーケット
- 2) 7月25日(土) 13:00~14:30
第4回 三浦綾子読書講座 『塩狩峠』を読み解く
参加費: ¥525(税込)
- 3) 8月1日(土) 15:00~15:30
第14回ミニコンサート ビッグバンドによるジャズコンサート
出演: 甲南高校 Brass Ensemble
入場無料

編集後記: ◇今月号は熊本西日本区大会特集として参加された方全員から大会の報告や感想を頂きました。今回特に皆様の印象に残ったのが「熊本バンド」、私も熊本ジェーンズクラブの命名の由来を知りました。◇町永昭五メンが横浜から6月例会に出席、最後の例会を楽しめました。今後もメールやプリントで芦屋クラブに参加して下さいね。◇7月からワイズの新しい年度が始まります。クラブや部の行事が盛り沢山、健康に気を配りながら元気に参加しましょう。◇これからが夏本番、皆様ご自愛ください。 桑野友子